

ZEN
禅

の至宝が一堂に。

本
朝
無
双
之
禅
苑

大徳寺

開創700年記念 特別展

Special Exhibition Celebrating the 700th Anniversary of the Temple's Founding
Daitokuji: A Zen Temple Beyond Compare

2026 10.14 水 WED - 12.6 日 SUN

TNM 東京国立博物館 平成館 上野公園
TOKYO NATIONAL MUSEUM (Ueno Park)

プレスリリース

DAITOKUJI



はじめに



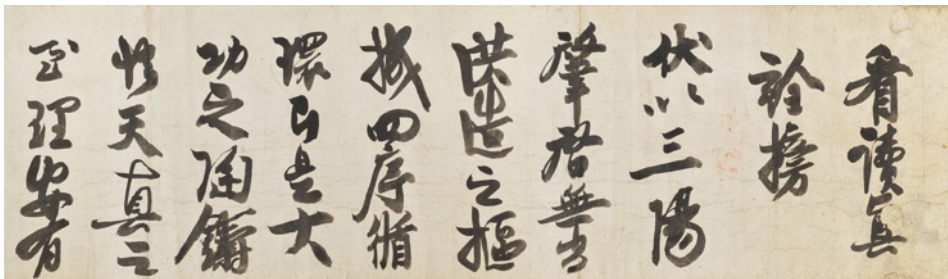
孤高の禅寺・大徳寺 — 禅と美の頂点 — 非公開の至宝が、ついに揃う。

京都・紫野の地に広がる大徳寺は、開山・宗峰妙超(大燈国師)の峻烈な禅風を今に伝える、洛北随一の巨刹です。1326年の開山以来、各時代を代表する名僧が輩出し、天皇や戦国武将、千利休をはじめとする茶人たちの信仰を集めながら発展してきました。なかでも、醍醐天皇は後醍醐天皇を「本朝無双の禅苑」と讃え、日本に二つとない禅苑としての光を放つこととなります。

大燈禅の法灯はその後も長く受け継がれ、一休宗純や沢庵宗彭、江月宗玩ら優れた禅僧が活躍するとともに、織田信長や豊臣秀吉ら戦国武将たちからも篤い信仰を集め、壮麗な障壁画と明媚な庭園を擁する数多くの塔頭が建立されました。また千利休や津田宗及をはじめとする茶人や数寄者との所縁が深いことも知られています。

大徳寺開創700年の節目の年にあたる2026年。この記念の年に、塔頭や大徳寺派寺院を含む大徳寺山内の寺宝を一堂に会し、その歴史と文化を紹介します。

みどころ



峻烈な禅風が
息づく
名宝の数々

#1

【国宝】「看読真詮榜」(部分)

宗峰妙超筆 南北朝時代・14世紀 京都・真珠庵蔵【半期で巻替え】

#2

大徳寺の宝物が一堂に
会する展覧会は41年ぶり、
東京では初!

【重要文化財】「龍虎図」

伝牧谿筆 中国 南宋時代・咸淳5年(1269)
大徳寺蔵【後期展示】



【重要文化財】「椿尾長鳥堆朱盆」

針描銘「張成造」 中国 元時代・14世紀
京都・興臨院蔵【通期展示】



【国宝】「大井戸茶碗 喜左衛門井戸」

韓国慶尚南道 朝鮮時代・16世紀
京都・孤篷庵蔵【通期展示】

禅と茶の湯、
美の極致へ迫る

#3

#4

通常非公開の
三門を再現展示。
本尊と利休居士像を初公開



※展示イメージ

前期展示:10/14(水)~11/8(日) 後期展示:11/10(火)~12/6(日)

序章：禅の広がり一心から心へ

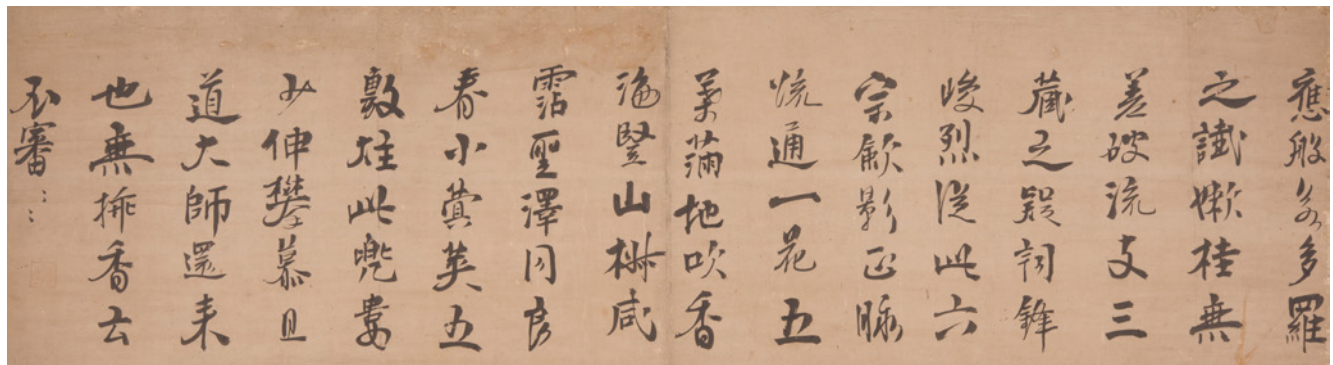
禅宗では、釈迦の心印(悟りの境地)は師の心から弟子の心へと連綿と受け継がれるものととらえられます。釈迦から数えて二十八祖にあたる達磨だるまが広めた禅の教えは、日本でも大きな潮流となり、多くの傑僧が活躍しました。とりわけ、宗峰妙超しゅうほうみょうちょう(大燈国師)によって開創された大徳寺は、日本文化の基層をなす役割を果たしてきました。序章では、宗峰に至る禅の流れを跡づけるとともに、禅宗によって生まれた水墨美術の粋をご覧ください。



東洋一の名画と謳われる 水墨芸術の最高傑作

【国宝】「観音猿鶴図」

牧谿筆 中国 南宋時代・13世紀 大徳寺蔵【前期展示】



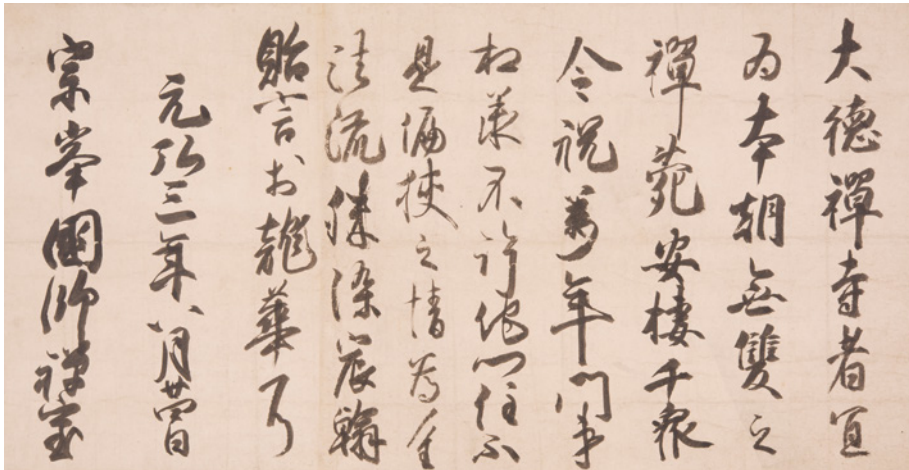
大徳寺の前史を彩る高僧の書

【国宝】「達磨忌拈香語」

虚堂智愚筆 中国 南宋時代・13世紀 大徳寺蔵【前期展示】

第一章 大徳寺の開創

宗峰妙超(大燈国師)は、峻厳な禅風で数多くの門弟を指導した高僧です。中国・南宋の虚堂智愚の法を嗣いだ南浦紹明に参じて印可(悟りの証明)を得たのち、京都東山で20年にわたって独り仏道修行に励みました。やがて、花園天皇・後醍醐天皇の帰依を受け、嘉暦元年(1326)、紫野の地に大徳寺を開堂します。大徳寺は、大覚寺統(南朝)・持明院統(北朝)の両統から支えられて発展し、「本朝無双の禅苑」と讃えられました。



「本朝無双の禅苑」と
讃えた天皇の書

国宝 「後醍醐天皇宸翰置文」 南北朝時代・元弘3年(1333) 大徳寺蔵【後期展示】



大徳寺を開いた高僧の
威厳に満ちた姿

国宝 「宗峰妙超像」
自賛 南北朝時代・建武元年(1334)
大徳寺蔵【前期展示】



動乱の時代に大燈国師に
深く帰依した天皇

重要文化財 「後醍醐天皇像」
鎌倉～南北朝時代・14世紀 大徳寺蔵【前期展示】

第二章 大燈禪の継承

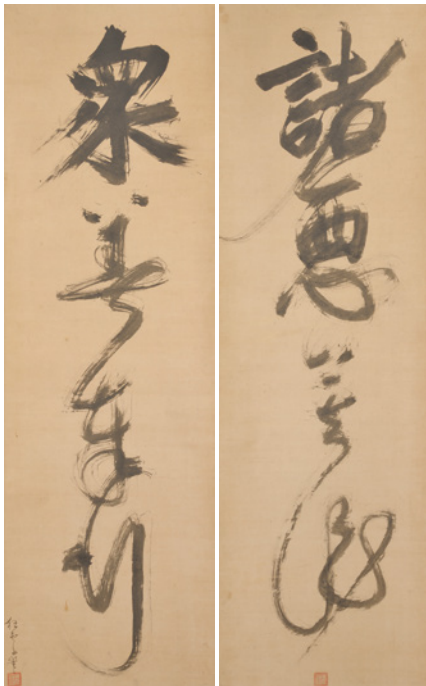
宗峰妙超しゅうほうみょうちょうの弟子たちは厳格な大燈禪だいてうぜんの教えを守り伝え、大徳寺は宗峰の法流のみが継承する「一流相承利いちりゅうそうじょうき」として発展しました。室町幕府の保護と統制を受ける「五山十刹ござんじゅうさつ」となった時期もありましたが、やがてそこから離脱し、「林下りんか」としての道を歩んでいきます。本章では、大徳寺第二世・徹翁義亨てつとうぎこうからの法脈と歴史的展開を跡づけます。15世紀に活躍した養叟宗頤ようそうそういと一休宗純いっきゅうそうじゆんの時代には、堺にも外護者げごしやを広げ、大徳寺は隆盛を極めました。

豪快極まる
鋭い筆法



重要文化財 「達磨図」

墨谿筆、一休宗純賛
室町時代・寛正6年(1465)
京都・真珠庵蔵【後期展示】



一休の生き様を示す
気迫みなぎる墨跡

重要文化財 「七仏通戒偈」

一休宗純筆 室町時代・15世紀
京都・真珠庵蔵【前期展示】

「一休さん」でおなじみの
型破りな禅僧



重要文化財 「一休宗純像」

自賛、宗辨禅人請 室町時代・15世紀
京都・酬恩庵蔵【前期展示】

第三章 戦国武将と塔頭

15世紀から16世紀にかけて、一休宗純を開祖とする真珠庵をはじめ、大徳寺四派(真珠庵派、龍泉庵派、南派、北派)の主要な塔頭が相次いで創建されました。塔頭とは、禅宗寺院を中心にみられる境内の小院を指し、主に高僧の墓所を守るために建てられた庵を起源とするものです。このような寺勢拡大の背景には、財力をそなえた堺衆のほか、三好長慶、大友宗麟、織田信長、豊臣秀吉など、名だたる戦国武将らによる帰依がありました。



6m超、永徳の父・松栄による
渾身の大作

重要文化財 「仏涅槃図」
狩野松栄筆 室町時代・永禄6年(1563) 大徳寺蔵【前期展示】



「織田信長像」
狩野永徳筆 安土桃山時代・天正12年(1584)
大徳寺蔵【後期展示】

信長の葬儀は大徳寺で
盛大に執り行われた



「笑嶺宗訢像」
自賛 室町時代・元亀2年(1571)
聚光院蔵【通期展示】

武将や茶人からも
深い帰依を受けた高僧

第四章 江戸時代の名僧

17世紀、新しい時代を迎えて統制をはかる江戸幕府と、朝廷や公家、寺社との間に軋轢あつれきが生じるようになります。大徳寺では、寛永6年(1629)、朝廷からの紫衣勅許しえちよつきよを無効とする法度はつどに抗議した、沢庵宗彭たくあんそうほう、玉室宗珀ぎよくしつそうはくらが処罰される「紫衣事件」が起きました。しかし、江月宗玩こうげつそうがんのとりなしにより放免となり、危機を乗り越えた沢庵、玉室、江月は、寛永13年に大燈国師300年遠忌だいてうこくし おんきを執り行ない、大徳寺再興に努めました。



重要文化財 「油滴天目」
中国北方 金時代・12～13世紀
京都・龍光院蔵【11/25～12/6展示】



国宝 「曜変天目」
中国・建窯 南宋時代・12～13世紀
京都・龍光院蔵【前期展示】



「江月宗玩坐像」
康意作 江戸時代・寛永9年(1632)
京都・龍光院蔵【通期展示】



「沢庵宗彭像」
自賛 江戸時代・寛永11年(1634)
京都・聚光院蔵【前期展示】

「たくあん漬け」の
由来ともなった近世初期の名僧

第五章 禅宗美術の精華

戦国武将や有力な町衆たちの帰依を集めた大徳寺には、禅の歴史を物語るさまざまな文物が蓄積されていきました。中国や朝鮮半島で制作された美術品のなかには、すでに本国で失われたものも多く、きわめて貴重です。また有力者の庇護を受けて発展した塔頭の堂内には、日本美術史に燦然と輝く壮麗な襖絵が描かれました。本章では、禅宗美術の名品を紹介するとともに、大徳寺本坊や各塔頭を飾った至高の障壁画群をご覧ください。

天才・永徳の
エネルギーギッシユな筆さばき



国宝 「琴棋書画図襖」(部分)

狩野永徳筆 室町時代・16世紀
京都・聚光院蔵【後期展示】



龍と鳳凰が刻まれた
明代龍泉窯の名品

「青磁刻花龍鳳文大花瓶」

中国・龍泉窯
明時代・15世紀
大徳寺蔵
【通期展示】



一休ゆかりの禅寺に伝わる
妖怪絵巻の傑作

重要文化財 「百鬼夜行絵巻」(部分)

伝土佐光信筆 室町時代・15世紀
京都・真珠庵蔵【半期で巻替え】

終章 禅とともに——大徳寺三門の世界

大徳寺の伽藍^{がらん}は戦乱などによる焼失をくり返しながら、その都度復興が成し遂げられ、いつの世も人びとの心の拠りどころ^よとなってきました。とりわけ、千利休^{せんりのきゅう}によって上層が造営された壮観な姿の三門^{さんもん}「金毛閣^{きんもうかく}」は、大徳寺の象徴的存在です。本展の最後に、通常非公開の三門楼上に安置されている釈迦三尊像^{しゃかさんぞんぞう}、そして明治期に寄贈された千利休立像を紹介します。心から心へ、大徳寺が守り伝えてきた禅の深遠を体感いただけたら幸いです。



※展示イメージ

明治時代に三門楼上に
安置された利休像

龍翔寺から移された
三門楼上の本尊



初公開

「釈迦如来坐像」

印慶作 室町時代・応永11年(1404)
大徳寺蔵(三門安置)【通期展示】



初公開

「千利休立像」

頭部:天保11年(1840) 体部:田中浄慶作 明治2年(1869)
大徳寺蔵(三門安置)【通期展示】

音声ガイド・グッズ

音声ガイド

松重豊さんが音声ガイドナビゲーターに就任！
ナレーターは声優・上坂すみれさんが務めます。



音声ガイドナビゲーター
松重豊さん

蜷川スタジオを経て、映画、ドラマ、舞台と幅広く活躍。2012年からスタートした『孤独のグルメ』は、今年4月からseasonIIが放送スタート。昨年1月には、自身が監督・脚本・主演を務めた『劇映画 孤独のグルメ』が公開する。『空洞のなかみ』や『たべるノラト。』も刊行。

●会場レンタル版 貸出料金:1台700円(税込) ●アプリ配信版(iOS/Android)「聴く美術」配信価格:800円(税込)
※会場レンタル版とアプリ配信版の収録内容は同一です。



ナレーター
上坂すみれさん

2011年に声優デビュー。アーティストとしては2013年にデビュー。主な出演作は「うる星やつら」(ラム)、「機動警察パトレイバーEZY」(久我十和)、「春夏秋冬代行者 -春の舞-」(葉桜瑠璃)、「ONEPIECE」(軍子宮)ほか多数。

《松重豊さん インタビュー》

音声ガイドナビゲーターを担当いただく松重さんにインタビューに答えていただきました。本日はその一部を公開！

——特別展「大徳寺 本朝無双之禅苑」の開催について

大徳寺という1つの場所にこれだけの素晴らしい宝があるというだけでもすごいことです。しかも多くのものが常に展示されているわけではない。それが今度の展覧会では、一堂に会して鑑賞できる。これはまたとない貴重な機会だと思います。

——音声ガイドへの意気込みについて

あくまで主役は美術品、工芸品です。役者は、自分を表現するというものではなく、いろいろなものを感じて生きるものだと思います。なので自分がどう感じたかを素直に出していければと思います。皆さんが鑑賞するときには、美術品の導きがあっといういろいろなことを感じると思うので、私はナビゲーターとして寄り添わせていただきます。

※インタビュー全文は後日artNIKKEI(<https://art.nikkei.com/>)にて公開予定です。お楽しみに。

NHKでは、松重豊さんが出演する大徳寺特集番組を10月に放送予定です。

グッズ

本展限定御朱印付きの御朱印帳や、「百鬼夜行絵巻」をイメージしたぬいぐるみクッションまで、展覧会の思い出になるグッズを多数ご用意。



おてらぶ

開催概要・イベント

イベント(予定)

開催記念講演会

大徳寺の禪 —大燈国師の教えをたどる

講師 福代洋道(大本山 大徳寺 宗務総長、興臨院住職)、
浅見龍介(東京国立博物館 副館長)
会場 東京国立博物館 平成館大講堂
日程 10月25日(日)午後1時30分～3時

開催記念トークショー

日本美術応援団、 大徳寺展を応援する!

講師 山下裕二(美術史家・明治学院大学教授、日本美術応援団・団長)、
山口 晃(画家、日本美術応援団・団員)
会場 東京国立博物館 平成館大講堂
日程 10月30日(金)午後5時30分～7時



山下裕二



山口晃

撮影:曾我部洋平

坐禅体験会

講師 小堀月浦(龍光院住職)
会場 東京国立博物館 平成館大講堂
日程 11月1日(日)
①午前11時～午後0時30分
②午後2時～3時30分

特別夜間イベント(主催:日本経済新聞社、VIE)

ZEN NIGHT TOKYO | 大徳寺展 紅葉の庭園で、 “禪”にひたる特別な夜を。

通常は17時で閉園する東京国立博物館の庭園を、本展会期中、特別に夜間公開いたします。幻想的な光と“脳がどどろ”ニューロミュージックに包まれた空間のなか、静けさに身をゆだねながら、“禪”の世界を体感いただけるイベントです。脳波をリアルタイムで測定しながら行う、禪と科学が融合した新しい坐禅体験や、大徳寺のご住職による本格的な坐禅体験も予定しています。



※画像はイメージです。

※参加料、申込方法等の詳細は、確定し次第展覧会公式サイト等でお知らせします。
※開催日時や内容は、都合により変更となる場合があります。

開催概要

開創700年記念 特別展「大徳寺 本朝無双之禅苑」

会場 東京国立博物館 平成館
会期 2026年10月14日(水)～12月6日(日)
休館日 月曜日(ただし、11月2日、11月23日、11月30日は開館)、11月24日
開館時間 午前9時30分～午後5時
※毎週金曜・土曜日および11月1日(日)、11月2日(月)、11月22日(日)は午後8時まで開館
※入館は閉館の30分前まで

主催 東京国立博物館、大本山 大徳寺、NHK、NHKプロモーション、日本経済新聞社
協力 表千家不審菴、裏千家今日庵、武者小路千家官休庵
協賛 大林組、住友不動産、TOPPAN クロレ

観覧料 (税込) 当日券:一般2,300円 大学生1,300円 高校生900円
前売券:一般2,100円 大学生1,100円 高校生700円
※前売券販売期間:8月7日(金)から10月13日(火)
※中学生以下、障がい者とその介護者1名は無料。入館の際に生徒手帳、障がい者手帳などをご提示ください。
※本展は事前予約不要です。混雑時はお待ちいただく可能性がございます。
※本展のチケットで、観覧当日に限り東博コレクション展(平常展)もご覧いただけます。
※11月30日は大徳寺展のみ開館(東博コレクション展は休館日のため観覧不可)

展覧会公式サイト <https://daitokuji2026.exhn.jp/>

展覧会公式X [@daitokuji2026](https://twitter.com/daitokuji2026)

お問い合わせ 050-5541-8600(ハローダイヤル)

※会期中、一部作品の展示替えを行います。※開催情報は変更になる場合がございます。
※イベント、スペシャルチケット等の情報は順次展覧会公式サイト等でご案内いたします。

TNM 東京国立博物館 平成館
TOKYO NATIONAL MUSEUM (UENO PARK)

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ウェブサイト <https://www.tnm.jp/>

●JR上野駅公園口・鶯谷駅南口より徒歩10分 ●東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、東京メトロ千代田線根津駅、京成電鉄京成上野駅より徒歩15分

報道関係
お問い合わせ

開創700年記念 特別展「大徳寺 本朝無双之禅苑」広報事務局(共同PR内) 担当:三井
E-mail: daitokuji2026-pr@kyodo-pr.co.jp TEL: 03-6264-2382